

コンセプト・ペーパー

# ともに取り組む 豊田市・重層的支援体制

2025年7月16日

コンセプト・ペーパーって何？

豊田市で重層的支援の推進に向けて

# ともに取り組むベースである 考え方や目線を合わせていくツール

越境する前の立ち位置・悩んだ際に立ち返る基点を示すもの

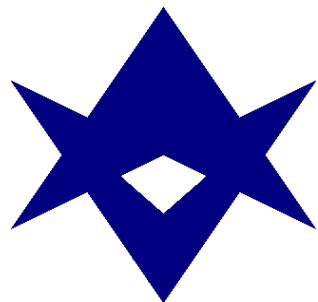
コンセプト・ペーパーをまず見てほしい人

(保健・福祉・医療・コミュニティ関連の所属・機関だけでなく)

# 豊田市の地域共生社会に 関する仕事をしている人たち

窓口・こども・産業・安全・芸術・教育・多文化・・・などなど

## コンセプト・ペーパーをととのえた人たち



豊田市重層  
チーム

(よりそい支援課だけでなく)  
重層に関わるみんな



専門フェロー：福祉ブランディング担当  
阿部 美里 氏

みんなの声や想いをもとに  
伝えやすい形やデザインに

## 目次・共有したいこと

### 豊田市・重層的支援体制のしくみ

- |     |                          |      |
|-----|--------------------------|------|
| 01. | 豊田市が目指す「地域共生社会」のイメージ     | P 7  |
| 02. | 地域共生社会を目指すための 重層的支援体制    | P 8  |
| 03. | 重層的支援体制の中で取り組む 活動・支援のしくみ | P 9  |
| 04. | 「重層」にすると市民にどんなメリットがある？   | P 10 |

### 目線合わせをするための考え方

- |     |                       |      |
|-----|-----------------------|------|
| 05. | 「重層」ってどんな意味？          | P 12 |
| 06. | 連携のコンセプト：「+あそび」の視点をもつ | P 13 |
| 07. | 「+あそび」の視点が大切となる理由     | P 14 |

### 重層を「+あそび」の視点でサイクルを考える

- |     |                     |      |
|-----|---------------------|------|
| 08. | 「+あそび」をもつための はじめの一步 | P 21 |
|-----|---------------------|------|

# 豊田市・重層的支援体制のしくみ

豊田市が目指す「地域共生社会」のイメージ

これまでの関係性をこえて 一人ひとりの  
『安心な暮らし』 『生きがい』 『つながり合える地域』  
をともにつくり 幸せを感じられる社会

「関係性をこえる・ともにつくる」がキーワード

## 地域共生社会を目指すための 重層的支援体制

豊田市の将来像 \* 第9次豊田市総合計画

つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた

関係性をこえる・ともにつくる  
豊田市の地域共生社会

\* ミライ実現戦略2030 取組目標②

これまでの関係性をこえて

一人ひとりの『安心な暮らし』『生きがい』『つながり合える地域』  
をとともにつくり 幸せを感じられる社会

豊田市民が必要とする  
豊田市全体での一体的な関係性

\* 包括的な支援体制の整備（社会福祉法第106条の3）

カジュアルな関係性  
（地域や民間の活躍・支え合い）

フォーマルな関係性  
（行政や関係機関による支援）

多様な関係性を選択でき 行き来しながら みんなが暮らしている

そのために豊田市で  
ともに取り組むこと

\* 重層的支援体制整備事業（社会福祉法第106条の4）

1・2・3を重ね合わせて実施する豊田市の体制＝『重層的支援体制』

1

選択し つながり合えるような  
「地域づくり」の促進

2

困り事を受け止め つなぎ戻す  
ための「包括的な相談支援」

3

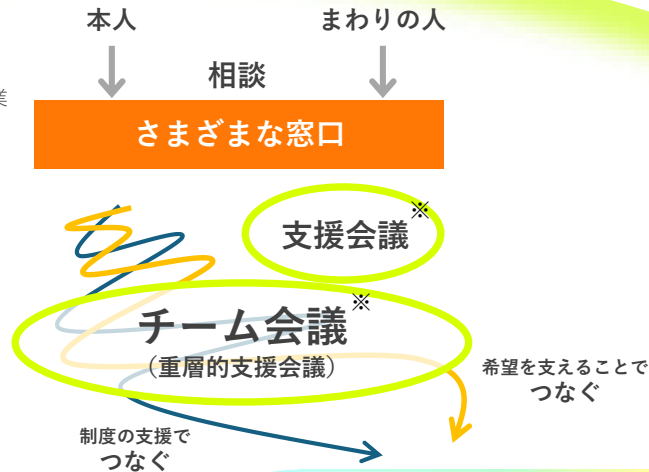
自分らしく社会に続けるため  
の「参加・活躍の支援」

# 重層的支援体制の中で取り組む 活動・支援のしくみ

## 2 包括的な相談支援※

地域共生社会での関係性に『つなぐ』

- # 要綱第4条：包括的相談支援事業（4事業）
- # 要綱第5条：アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
- # 要綱第6条：多機関協働事業
- # 要綱第7条：参加支援事業
- # 各種制度・サービス



## 多機関協働事業者※

連携による活動・支援のための  
各所・各場面での『チームづくり』  
を行う立場

- # 要綱第6条：多機関協働事業
- # 支援会議の開催
- # チーム会議（重層的支援会議）の開催
- # 協議の場（重層定例会）の運営
- # 学びの場（重層的支援推進研修）の実施

## 3 社会参加支援・活躍支援※

地域共生社会での関係性の中で  
すごし・はたらき・活躍し『つづける』

- # 要綱第6条：多機関協働事業
- # 要綱第7条：参加支援事業
- # 産業人材の活躍支援
- # 地域活動者の活躍支援



## 1 地域づくり※

地域共生社会での関係性を『つくる』

- # 要綱第6条：多機関協働事業
- # 要綱第8条：地域づくり事業（5事業）
- # 地域づくりを支える取組
- # まちづくりを支える取組



多様な関係性を選択でき 行き来しながら  
みんなが暮らしている

## 「重層」にすると市民にどんなメリットがある？

### 今まで

「該当する制度・サービス」があれば良いが  
対応できるものがない課題も多くなっており  
「モヤモヤ」が 何にもつながらない

「ちょっとした希望」に目を向けてもらえず  
結果 何も頼れないと諦めてしまう

### これから

「モヤモヤ」や「ちょっとした希望」を  
介してつながり 多様な関係性の中で  
糸口になりそうな機関や人に出会えたり  
応援してもらえる環境が生まれる

# 目線合わせをするための考え方

「重層」ってどんな意味？

しくみや体制が  
(ちょっとずつ) 重なり合っていることで  
つながりやすくなること

少し近しい考え方：「縦割りの組織に 横串を入れる」

## 連携のコンセプト

みんなが「つながり」やすくなるために

それぞれが「+ あそび」の視点をもって活動していく

「+ あそび」が示す  
意味とは？

※決して、支援や活動に対して、  
適当に行うことや、ふざけて  
対応する意味ではありません。

1

しくみや心の中にある「ゆるさ・余裕」のこと  
スムーズな活動や支援を実現したり  
予期せぬことに柔軟に対応できる機能が生まれる

2

自発的に行われる「楽しみや満足」を感じる活動のこと  
心を満足させることを目的として行うものであり  
楽しみやワクワクにより 他と関わる接点が増える

## 「+ あそび」の視点が大切となる理由

地域共生社会を目指すためには

一人ひとりの幸福感・満足感（Well-being）と

新しい価値をつくること・異なる価値に気づくこと

が必要であるから

1

しくみに「+ あそび」をもたせる

課題解決を主として 制度・サービスを使う  
ことばかりに目を向ける「しくみ」だと  
住民は「何かにつながっていない部分」  
に対して不安を感じがちであった

相談の受け止め方など あいてへの  
関わり方に少しの広がりやゆとりが  
できることで 「つながる」という  
安心感や新たな関係性が生まれる

2

「+ あそび」の視点でも考えてみる

制度やサービスの視点からだけだと  
ひとりの人としての強みや得意なことに  
気づきにくい状況を生みがちであった

「個人の興味・関心からのタグ」  
（例：ゴルフが好きな人）に気づき  
そこからつながることができる  
その人もまち自体も楽しくなれる

# 重層を「+あそび」の視点でサイクルを考える

# 「+あそび」の視点で考える 重層のサイクル

1

自分のいるところに  
「+あそび」を組み込む



# 地域づくり # まちづくり

2

「+あそび」の視点から  
変化に気づく



# 地域づくり # まちづくり  
# 相談支援 # 伴走支援 # 支援会議

3

「+あそび」も意識して  
関係性につなぎ戻す



# チームづくり # 参加支援 # 制度・サービス

4

「+あそび」をもって  
参加・活躍しつづける



# 参加支援 # 地域活動者の活躍支援  
# 多様な人材の活躍支援 # 柔軟な働き方

「+あそび」でつながり  
可能性が広がる暮らしを  
みんなで作っていく

あなたはどこに関わりますか？

サイクルを見ながら考えてみましょう

# 1. 自分のいるところに「+あそび」を組み込む

#地域づくり #まちづくり  
(要綱第8条：地域づくり事業)

自分のいるところ

||

コミュニティ、会社、組織、団体、  
活動、支援、機会、事業、役割など

まずは自分のいる ところ に

「+あそび」をつくる

「ゆるさ」と「楽しさ」をどう入れるか？

興味・関心からの接点が増え  
幅広い関わり方のできる地域をつくる



視点  
!

今、あなたがいるところには「+あそび」がありますか？

今、関わっている活動や取組には どんな「+あそび」がありますか？

## 2. 「+あそび」の視点から 変化に気づく

# 地域づくり # まちづくり  
(要綱第8条：地域づくり事業)

# 相談支援  
(要綱第4条：包括的相談支援事業)

# 伴走支援 # 支援会議  
(要綱第5条：アウトリーチ等を通じた継続的支援事業)

きっかけになりそうなところを探る

### 受け止め・つなげる

「うちじゃない」という姿勢は  
活用できるものや つながる機会の  
可能性をなくすことになる

いつもの活動・暮らしの中で気にかける

### 気づき・声かけ

周りを気にかける余裕のおかげで  
悩みごとをみんなで手助けできる  
きっかけや早期対応につながる

介護のチラシをかき集めている  
何か悩みがあるのかも？

ポストに新聞が溜まっている  
外に出られない状態なのかも？

視点  
！

「・・・なのかも？」の意識

安心して情報共有ができ アプローチする

### 支援会議の開催

関係者で本人にまつわる情報を共有し  
アイデアを出しながら どんな関わり方が  
できるかについて作戦会議を行う

頻繁に水道代の滞納がある  
もしかしてお金に困っているのかも？

突然連絡がつかなくなった  
何かあったのかも？



### 3. 「+あそび」も意識して 関係性につなぎ戻す

#### # チームづくり

(要綱第6条：多機関協働事業)

#### # 参加支援

(要綱第7条：参加支援事業)

#### # 制度・サービス

(法令等に基づく制度・サービスの運用、制度・サービスの見直し)

制度等の支援で つなぐ

希望を支えることで つなぐ

困っている・苦しい

暮らしの「渴き」を減らす

本人が制度・サービス等を  
活用して生活できるための支援

こうありたい

暮らしに「潤い」を得る

本人の望みを応援  
本人に合った/らしい  
他者や社会との関わり方を調整

ちょっとした制度やサービスの  
見直し（「+あそび」の創出）が  
さらに暮らしの「渴き」を減らすことに

意思決定支援を  
社会参加の観点で捉えてみる

チーム会議 の開催  
(重層的支援会議)

モヤモヤからの課題と望みの整理 方針を定めるために  
本人と一緒に考える 本人のチームをつくる視点で集まる

## 4. 「+あそび」をもって 参加・活躍しつづける

# 参加支援  
(要綱第7条：参加支援事業)

# 地域活動者の活躍支援 # 多様な人材の活躍支援 # 柔軟な働き方  
(担い手の育成、産業人材の活躍支援、ショートタイムワーク・スポットワーク)

こうありたい

# 好きなもの

# 偏愛

# ワクワクすること

# 楽しみ

# 挑戦してみたいこと



制度や病気などでその人を固定するのではなく  
興味関心の「#（ハッシュタグ）」からその人を想像してみる

視点  
!

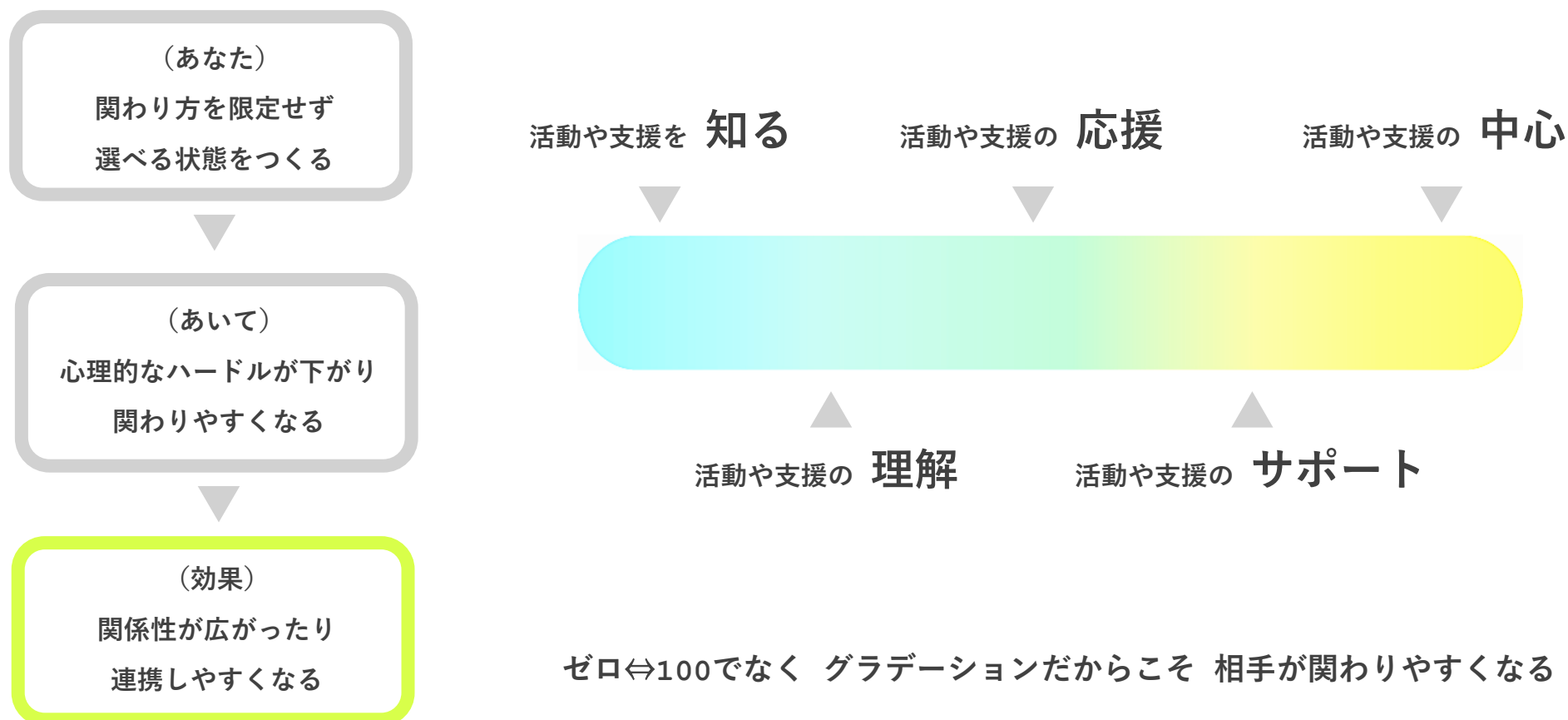
関われそうなタグを伝えていく  
地域・企業・団体のモヤモヤと  
タグを結びつけてみる

タグからのつなげ方であると、つながれた方も受け止めやすい

Aさんのモヤモヤ（例：集客したいのに人が集まらない）は、  
Bさんのタグとつながるかもしれない

## 「+あそび」をもつための はじめの一步

### 「関わりしろ（グラデーション）」という考え方を取り入れる



# 参考

## 参考：重層に関する「ことば」の説明

### ● 地域づくり

- ・・・ 地域共生社会の中で、市民に必要となる関係性を「つくる」ことに関する取組。

豊田市では、交付金5事業※のほか、コミュニティ・こども・産業・安全・芸術・教育・多文化などを重ね合わせて取り組んでいます。

※ 地域介護予防活動支援事業、生活支援体制整備事業、地域活動支援センター事業、地域子育て支援拠点事業、生活困窮者支援等のための地域づくり事業

### <構成課（委託先※を含む）>

（福祉部）よりそい支援課、地域包括ケア企画課、生活福祉課、障がい福祉課、高齢福祉課

※ コミュニティソーシャルワーカー、生活困窮者自立相談支援機関、成年後見支援センター（中核機関）、障がい者相談支援事業所、地域包括支援センター

（地域活躍部）地域交流課、多様性社会共創課、各支所

（美術・博物館部）美術館、博物館、民芸館

（こども・若者部）こども・若者政策課、こども相談課、保育課、子育て支援センター

※ こども・若者総合相談センター

（保健部）健康づくり応援課、保健支援課

※ 地域活動支援センター

（教育委員会）青少年相談センター

## 参考：重層に関する「ことば」の説明

### ● 包括的な相談支援

- ・・・ 市民の困り事を受け止め、制度による支援や希望を支えることで、地域共生社会での多様な関係性の中に「つなぎ戻す」ことに関する取組。

豊田市では、交付金4事業※のほか、在宅療養相談、生活保護、消費生活相談、DV・困難な女性支援、犯罪被害者支援、子どもの権利相談、若者支援、母子保健、健康相談、精神保健福祉、消福医連携、教育など、市民からの相談を受ける可能性のある部署が連携して実施しています。

※ 地域包括支援センター事業、障がい者相談支援事業、利用者支援事業、生活困窮者自立相談支援事業

### < 構成課（委託先※を含む） >

（福祉部）よりそい支援課、地域包括ケア企画課、生活福祉課、障がい福祉課、高齢福祉課

※ コミュニティソーシャルワーカー、生活困窮者自立相談支援機関、成年後見支援センター（中核機関）、在宅相談ステーション、障がい者相談支援事業所、地域包括支援センター

（市民部）消費生活センター

（地域活躍部）ジェンダー平等推進センター、交通安全防犯課、旧市内5支所（福祉の相談窓口）

（こども・若者部）こども・若者政策課、子どもの権利相談室、こども相談課、おやこ応援課、保育課、子育て支援センター

※ こども・若者総合相談センター

（保健部）健康づくり応援課、保健支援課

※ 地域活動支援センター

（消防本部）（北）管理課

（教育委員会）青少年相談センター

## 参考：重層に関する「ことば」の説明

### ● 社会参加支援・活躍支援

- ・・・ 地域共生社会での関係性の中で、自分らしく過ごしたり、働いたり、活躍したりし「つづける」ことに関する取組。

豊田市では、重層交付金内の参加支援事業のみならず、働くことや地域活動の促進までを含み、幅広く社会や地域で活躍できることを進めています。

#### <構成課（委託先※を含む）>

（福祉部）よりそい支援課、地域包括ケア企画課、生活福祉課、障がい福祉課、高齢福祉課

※ コミュニティソーシャルワーカー、生活困窮者自立相談支援機関、成年後見支援センター（中核機関）、とよた多世代参加支援プロジェクト、在宅相談ステーション、障がい者相談支援事業所、地域包括支援センター

（市民部）消費生活センター

（地域活躍部）ジェンダー平等推進センター

（こども・若者部）こども・若者政策課、こども相談課、保育課、子育て支援センター

※ こども・若者総合相談センター

（保健部）健康づくり応援課、保健支援課

※ 地域活動支援センター

（産業部）産業人材活躍課

（教育委員会）青少年相談センター

## 参考：重層に関する「ことば」の説明

### ● 多機関協働事業者

・・・ 連携による活動・支援を行うために、各所・各場面での『チームづくり』の推進を行う所属や機関。

#### <構成課（委託先※を含む）>

（福祉部）よりそい支援課、生活福祉課、障がい福祉課、高齢福祉課

※ コミュニティソーシャルワーカー、生活困窮者自立相談支援機関、成年後見支援センター（中核機関）、障がい者相談支援事業所、地域包括支援センター

（市民部）消費生活センター

（地域活躍部）ジェンダー平等推進センター、交通安全防犯課

（こども・若者部）こども・若者政策課、こども相談課

※ こども・若者総合相談センター

（保健部）保健支援課

（教育委員会）青少年相談センター

## 参考：重層に関する「ことば」の説明

### ● 支援会議

- ・・・ 社会福祉法の規定により、個人情報保護の適用除外となり、参加者に守秘義務をかけて検討会議を開催できるしくみ。つまり、本人が相談していない（本人は困っていない）段階などにおいて、関係者が有している情報を共有して、どんなアプローチができるのかを検討する際に有効。

豊田市では、多機関協働事業者は、既存のケース検討会議に対して、「支援会議」を適用させることが可能。

### ● チーム会議（重層的支援会議）

- ・・・ 本人が参加する形、もしくは関係者が本人のことを話し合うことに同意した中で、本人がどう課題に立ち向かうのか、本人がどんな生活をしたいのか、それらを本人のチームとなる関係者はどう支えられるのかなどを検討する会議。

豊田市では、多機関協働事業者は、既存のケース検討会議に対して、「チーム会議（重層的支援会議）」を適用させることが可能。

参考：「発想の転換」 「行動の変容」 第9次総合計画より

発想の転換

- 1 「個の充足・完結」から 「つながり・関係性の広がり・深まり」重視へ
- 2 「ないものを補う」から「あるものを生かす」発想へ
- 3 「行政がリードするまちづくり」から  
「多様な主体が作り上げるまちづくり」へ

行動の変容

- 1 「見方を「変える」 < 気付く >
- 2 「思考を「変える」 < 考える >
- 3 「行動を「変える」 < 行動する >